



環境教育工房 LinX 主宰
上山 剛司さん
鶴岡市自然学習交流館ほとりあ
副館長兼学芸員
フィールド：大山上池・下池
(ラムサール条約湿地)



当日の配信 URL はこちら
<https://youtube.com/live/3sDvjuLzq1s>

2023
3/20(mon)

道外湿地視察

2023
3月(予定)

訪問先(予定)

蒲生干潟、汀沈釜湿地、
井土浦・井土浜、
伊豆沼・内沼サンクチュアリ、
鶴岡市自然学習交流館ほとりあ、
佐潟、福島潟



通信
vol.8
Feb. 2023

石狩川流域 湿地・水辺・海岸ネットワーク The Shimecchi Report
ニュースレター

しめつち ネット 活動と会員

かつて石狩川流域に広がっていた広大な湿地は農地開発やインフラ整備によってほとんどが失われ、それとともに豊かな自然環境や生活文化も姿を消しました。現在残されたわずかな湿地などの環境は各地域の市民団体などが保全・利活用の活動を進めています、常に失われる危機に瀕しています。そこで、たくさんの人に湿地の魅力と価値と現状を伝えるため、各地の団体がつながって力を集め、湿地の未来を作っていくと結成したのがこのネットワークです。

私たちは、環境の保全・再生・研究や、持続的な利活用の推進を行い、貴重な文化や自然環境を未来に残すために活動を行っています。また、湿地と地域社会のパートナーシップを作り、育てることで地域の活性化と湿地・人が共生する地域社会の形成を目指しています。

仲間募集! 一緒に活動してくれる仲間や活動への支援を募集しています。身近な自然環境について、ともに考え、行動しませんか?

- 正会員**
当ネットワークの趣旨に賛同し、運営に協力する意思があり、石狩川流域の湿原・水辺・海岸の環境保全・動植物保護に何らかの形で関与する団体。ネットワークの運営に参加することができます。
年会費 5,000 円
- 賛助会員**
当ネットワークの趣旨に賛同し、財政面で協力する意思のある個人や団体。メーリングリストでネットワークの情報が提供されます。
年会費 5,000 円(団体) 1,000 円(個人)
- サポーター**
当ネットワークの趣旨に賛同し、活動に興味のある方にご登録いただけます。ネットワークのイベントや情報をお届けします。



お問い合わせ・お申込み
石狩川流域 湿地・水辺・海岸ネットワーク (しめつちネット)
札幌市中央区南8条西2丁目5-74 市民活動プラザ星園 405号室
ishikari.wetland@gmail.com http://ishikarigawa-net.com/

しめつちネットのHPで最新情報も見てね!

しめつちマスコット トーノくん



報告 浜厚真イキモノブース 2022

チュウヒやタンチョウが繁殖する広大な海岸草原が広がる浜厚真に、巨大な風車群が立ち並ぶ計画が進行しています。そこで、浜厚真の生物多様性保全上の価値を示し、また、そのことを多くの人に知ってもらうため、昨年度、生き物調査「浜厚真 BioBlitz 2021」を実施しました。今年度は、そのフォローアップイベントとして、8月27日(土)から28日(日)にかけて「浜厚真イキモノブース2022」を実施しました。

ブースでは、浜厚真に生息する様々な生き物やBioBlitzの結果を展示しました。初日は雨模様でどうなることかと思いましたが、二日目には天気もやや回復。ちょうどサーフィン関連のイベントをしていたこともあって、たくさんのサーファー系ファミリー(?)にいらしてもらえました。魚類班の全面協力もあり、ヌマチチブ、モクスガニ、イバラトミヨなどの水槽の生態展示が特に目を惹き付けていました。

魚類や水生昆虫を中心に追加調査も実施され、コツブゲンゴロウ、コシマゲンゴロウ、コガムシが新たに確認されました。浜にはトウネン、ハマシギ、メダイチドリの群れがちょこちょこと動き回り、改めて浜厚真の生き物の豊かさを感じることができました。

「浜厚真イキモノの集い」と題したミーティングでは、風力発電計画の進捗状況や今後の課題について意見交換を行いました。夜は泊りがけの交流会「しめつちキャンプ」。来年も「浜厚真イキモノブース2023」を開催したいと思いますので、ぜひご参加ください。植物や昆虫を中心に、まだ記載されていない生物も数多くいると思われるので、ぜひ追加調査にもご協力をお願いします。現在の生き物リストはホームページで公開していますので(「浜厚真BioBlitz」で検索!)、追加種がありましたらお知らせください。

※「しめつち通信 vol.8」は、独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて制作されました。

美唄 大富原野 の活動報告

宮島沼の東側には、昭和初期まで大富原野と呼ばれた未開拓の湿原が広がっていました。戦後、原野は農地に置き換わってしまいましたが、防風林の一部には今でもエゾカンゾウが咲き誇り、原野のおもかげを残している場所があります。しかし、防風林の更新作業によって、大富原野のおもかげを残す防風林も伐採され、新たに木が植えられ、稚樹の保護のために下草刈りがされるようになりました。そこで、宮島沼の会では、しめっちネットの協力のもと、森林管理署と協定を結び、市民活動による湿生植物の保全活動を実施しています。

今年度も6月12日に外来植物であるオオハンゴンソウとオオアワダチソウの抜き取り作業を実施しました。昨年度抜き取った箇所では、明らかに外来植物が減少しており、活動の成果を実感できました。今後も継続したいと思っていますので、ご参加をお待ちしています。



貴重な湿地を守るために
みなさんの力を
貸してください！

牛山 克巳
(宮島沼の会)

埋め立て進む 「篠路福移湿原」の今 ～札幌市唯一の高層湿原消失の危機

何度もお伝えしていますが、認定NPO法人カラカネイトンボを守る会(当会正会員)が、ナショナルトラストで土地の取得も行き保全活動を進めてきた「篠路福移湿原」、1997年頃から残土処理業者による不当な埋め立てが続いてきており(提訴するも最高裁で何故か原告敗訴)、ここ2～3年は湿原の内部もどんどん埋められています。

2022年7月の観察会で見た現場は、湿原がさらに激しく埋められ、そのせいでトラスト地も水没していたり隆起して乾燥化が加速していたりで、衝撃的でした。

この現状を市民に知ってもらうため、7月13日のラジオカロスサッポロ「きたネットラジオカフェ」のゲストに綿路理事長に

来ていただいて、お話ししてもらいました。これまでの経緯の他、最近の動きとして、残土処理業者(株)スノーメディアとも話し合いをしたものの、埋め立てを止めるつもりはないということで、彼らに抗議する意味でも地域の個人宅向けに行っている除排雪を委託しないようお願いするなどしているとのことなど、伺いました。皆さんにも現状を知っていただき、知恵やお力をお借りできればと思います。

アーカイブは以下で聴けます(10分～40分がコア部分です)。

YouTube



<https://youtu.be/CmGFO2pSFJs>



しめっち 会員紹介

うみいく



「うみいく」では、子どもと保護者が一緒になって、毎月1回程度、石狩市内の海や森で自然体験活動をしています。石狩湾に面した石狩市には、海はもちろん川や森もあり、多様な自然環境を楽しむことができます。現在は、小学校1年生から高校生までの子ども達が在籍しています。活動は、遊びと学びが偏らない様に気をつけています。思いっきり体を動かして遊ぶだけではなく、自然環境についても関心を持って欲しいという思いからです。今年度は、海岸林での冬芽観察会から始まり、春は、海浜植物ハマボウフウの採取、夏は、お泊まり会を実施し、ビーチで海遊び&バーベキュー、そしてライブセーバーによる海辺の安全講習会を開催しました。見学はいつでも大歓迎です。お気軽にお問い合わせ下さい。



report

日本湿地学会釧路大会特別セッション

「北海道の湿地をどう守る？～北海道生物多様性保全計画への期待～」への登壇

2022年9月3日(土)から4日(日)に、釧路市の釧路市国際観光交流センターにて、「日本湿地学会第14回(2022年度)釧路大会」が開催されました！対面での開催は、コロナ禍以降で初めてだそうです。全体の参加者は100名ほど、久しぶりに大勢の方が集まる対面の場となりました。

学会では、口頭研究発表やポスター発表、公開シンポジウム、エクスカージョンのほか、特別セッション「北海道の湿地をどう守る？～北海道生物多様性保全計画への期待～」が行われました。北海道では、2023年度末に北海道生物多様性保全計画を改定する予定であり、本セッションでは新しい計画への期待や湿地保全に関して特に言及してもらいたい観点などを話し合う場として企画されました。

セッションでは、北海道環境生活部の橋本和彦さんから計画の概要について説明があった後、酪農学園大学環境共生学類(日本湿地学会釧路大会実行委員会)の吉中厚裕さんから、計画の必要性について解説が行われました。

この企画内で、しめっちネット代表の鈴木玲が登壇し、「未保全湿地の現状と地域活動からの期待」を発表しました。生物多様性保全計画の改定について、検討を希望する点として、「残存する小さな湿地の保全も重要であること」、「市民による保全活動には限界があるので、社会からのサポートも大切であること」、「関心のない市民層へのアピールが必要であること」、「再生可能エネルギー開発と湿地保全の折り合いの道を探ること」の4つを挙げました。

登壇者の発表の後、北海道の湿地に関する課題を話し合いました。本セッションの内容は動画からご覧いただけます。ぜひ視聴ください！



鈴木 玲(しめっちネット代表)

YouTube

<https://youtu.be/pBriihF2eo>

意見交換の様子はこちら



activity

NPO法人人まち育てI&I共催！ スゲメ縄プロジェクト

湿地に生えるスゲを使つてのメ縄づくり、これまで青森産スゲを使ってきましたが、ついに地元産カサゲによるメ縄づくりが出来ました！北海道e-水プロジェクトの助成をいただいたNPO法人人まち育てI&Iと早春から石狩川流域でカサゲ群落を探し、夏に収穫して干し、今秋ワークショップを共同開催しました。地元産カサゲは青森産のスゲよりは細く短いですが、皆で歳神さまを迎える立派な「地元産メ縄」を作りました。来年度は、カサゲを更に殖やして収穫する活動やスゲ田づくり試験を計画中です。

その他、辻井達一先生オススメ「エゾカンゾウの花と蕾のお料理会」を薬膳講師を招いての開催や、「環福連携」の一環でフリースクール自由が丘学園で湿地学習(4回シリーズ)を実施しました。湿生植物育苗体験や湿地体験を篠路福移湿原で行いました。また「湿地VRプロジェクト」も学生らと推進中です。



連載コラム

まゆと シッチ

②
しめっちチャンネル
を視聴して



みなさんお久しぶりです。平木麻結です。

今回もしめっちチャンネルさんの動画を視聴した感想をまとめました。

最初にこの動画を視聴した感想はすごく広い範囲で湿地はあるんだなと思いました。ジブリの「思い出のマーニー」で湿地があって広いイメージはありましたが、まさかあんなに広く、北海道各地の様々な所に湿地がある事は知らなかったのが今回は驚きと勉強になる部分がありました。この動画で紹介された中で行ってみたいと思う湿地はサロベツ湿原です。サロベツ湿原は色々な湖沼が広がっていて、その多くは湖畔への道がなく自然そのままの姿で小さなお花が咲いたり、生き物がいる場所みたいなので実際に見て本物の自然やその広さを感じてみたいと思いました。この動画には難しい名前が流れるスピードをゆっくりにしたら文字を目で追やすくなると思います。

まゆ 北海道在住の車イスユーザー。グッズ集めとショッピングとおいしいものが好き。 ブログ「ひまわりとまゆ」 <https://himawariandmayu.com>

